

奴国について調べてみよう!!

「春日市文化財ガイドブック なるほどかすがの文化財」を見ながらすると分かりやすいよ!

なこく くに 奴国ってどんな国?



奴国って聞いたことはあるけど...
どんな国だったのかな?

弥生時代になると米づくりがはじまって、
日本にちいさな国がたくさんできたよね。
奴国は、福岡平野にできたひとつの国だよ。



なこく 奴国という国は、今から 2000 年ぐらい前に さか 栄えた国です。春日市を中心とする福岡平野 いったい 一帯のことを「奴国」と呼んでいました。奴国は、大陸から進んだ文化をいち早く取り入れて発展しました。

古代中国の歴史書には、奴国は他の国に先がけて中国の こうてい 皇帝に使いを送り、57 年に金印 きんいん を与えられたと記してあります。それがみんなも知っている「漢委奴国王 かんのわのなのこくおう」の金印です。

金印 きんいん をもらった数世代 すうせだい 前の奴国王のお墓 はか もみつかっており、「草葉文鏡 そうようもんきよう」と呼ばれる大きな鏡 かがみ が見つかっています。直径 ちようけい が 20cm 以上の鏡で、奴国の王様の力の大きさを表しています。



奴国王のお墓から
見つかった直径
20 cm 以上ある鏡
の名前は?



奴国の中心地が資料館周辺
だったってホント?

資料館の周辺では、王族のお墓や青銅器やガラスをつくる工房の跡も見つかっているんだ。
中国との交流で新しい文化を取り入れてたんだよ!



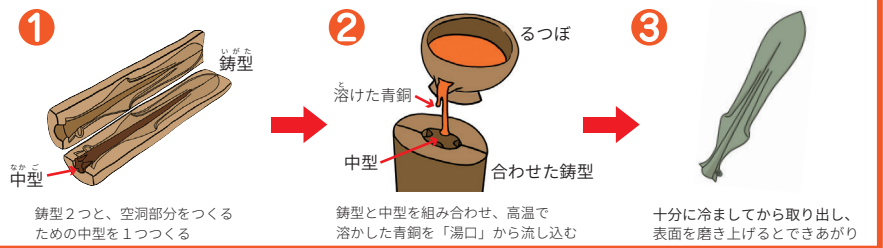
せいどうき こうぼう 青銅器工房ってなにをつくっていたの?



青銅器をつくる様子 (想像図)

石をほり込んでつくった いがた 鑄型 ちゆうがう をあわせて、その中に銅とすずの合金 (青銅) を流し込んでつくるのが青銅器です。青銅器をつくるには、高度な技術や大陸産の原料 ひつよう が必要で、当時の最先端技術 さいせんたん でした。青銅器工房では、銅戈や銅矛、銅鏡などがつくられていました。

青銅器のつくり方 ~銅矛編~

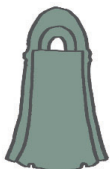


石で作られた型だね。
たくさん彫り込みがあるね。
これは何をつくる型だろう?



どんな使い方をしていたのかな? しらべて、絵でかいてみよう!
「なるほどかすがの文化財」の 22 ページを見てみよう

他にもこんな青銅器をつくっていたよ。



どうたく
銅鐸

弥生時代につくられたカネ形
の青銅器で、お祭り まつ でつかう
道具でした。



どうきよう
銅鏡

弥生時代にお祭りなどで使う
青銅でつくられた鏡です。

